

令和四年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

期間 令和四年十一月一日〜令和五年一月末

選者 星野椿、星野高士

特選三句

天 もののふの夢をいだきて山眠る
神奈川県川崎市 吉田 亨

地 冬 茜 祇音山から白い富士
神奈川県鎌倉市 千石 正子

人 おびんづる様へも御慶建長寺
神奈川県南足柄市 海野 優

入選句

一般の部 (二十句)

観音へ人滞る椿かな
神奈川県横須賀市 浅井 大志

落葉踏む鎌倉殿の墓に花
栃木県下都賀郡 稻見 和子

寒禽の猛る大仏切通
兵庫県尼崎市 大沼 遊山

一つとて糸口みえず年新た
神奈川県厚木市 岡本 恭信

弓道の鏡を師となす初けい古
神奈川県横浜市 金子 きよ

背のびした朱色の映えし七五三
福岡県筑紫野市 後藤 早紀

色浅き帰り花咲く禅の寺
神奈川県川崎市 里中 信

玉砂利を踏んでいのちの小春かな
神奈川県横浜市 鈴木 基之

よき距離を保ちて浮かぶ夫婦鴨
神奈川県横浜市 田阪 武夫

初詣家族の笑顔願いおり
神奈川県川崎市 田中 夏子

初風や異邦人連れ谷戸奥へ
東京都足立区 田中 正博

谷戸の寺鼓膜に初雪のはらり
神奈川県横浜市 野口 昌子

身の丈の土牢の闇冷まじや
東京都杉並区 野村 親信

沿岸を消防車ゆき寒の風
東京都町田市 星野 佐紀

大吉の予行練習初詣
千葉県浦安市 松浦 太紀

君想いかじかんだ手が筆を取る
大阪府大阪市 的場 太雅

下駄履いて霜柱踏みさくさくと
神奈川県鎌倉市 三橋 雅江

初春の夢を語りし由比ヶ浜
神奈川県横浜市 山下 省三

山寺の棚引く煙冬うらら
埼玉県蕨市 結城 鋼

丸文字の恋の絵馬揺れ春を待つ
埼玉県坂戸市 渡邊 俊一

子どもの部 (十句)

だいぶつとかぞくでたのしく大みそか
兵庫県西宮市 里見 星奈

大仏の背中の窓が肌寒い
神奈川県厚木市 山本 直樹

冬の空朱色の門がそびえ立つ
東京都港区 ナイルス ジェナ

初日の出えのしまで見たよいまちだ
神奈川県鎌倉市 安齊 穂乃

ゆきだるまちいさいけれどがんじようだ
神奈川県鎌倉市 酒井 正帆

弁慶に書いてもらおうねんがじよう
神奈川県鎌倉市 米田 寧

初雪にみんなおどろきあそびだす
神奈川県鎌倉市 佐野 直哉

雪の花キラリと光りヒラリ舞う
神奈川県鎌倉市 山本 佳香

冬の風私をそつとなでてゆく
神奈川県鎌倉市 勘田 一花

まどのそとのおくまでしろいゆきげしき
神奈川県鎌倉市 塚本 嵩大

(順不同)



鎌倉の四季折々を十七文字に・・・
鎌倉俳句&ハイク実行委員会
公益財団法人
鎌倉市芸術文化振興財団内
〒248-0016 鎌倉市長谷 1-5-3
TEL 0467(22)5010
<https://www.kamakura-haiku.com/>